

はいゆ 作りかた ＜廃油キャンドルの作り方＞



NPO 法人かえる倶楽部

廃油キャンドル作りレシピ 2015

おうちの方へ……

キャンドル作りの工程には、火を使うところや熱いビンを持ったりすることがありますので、火傷・火事に充分注意してください。

お子様が作る場合には、必ず大人の方と一緒にいき、火を使う工程は必ず大人の方がそばにいてください。

キャンドル作りは火や熱い油を使うので必ず大人と一緒に作りましょう。

(材料・道具)

□廃油(フィルタ等で濾したもの)

□凝固材

□芯(太めのタコ糸、ビンの高さより3cmくらい長めのもの)

□空き瓶(2層のキャンドルを作る場合は2つ)

□割り箸又は長めの洗濯バサミ

□キャンドルカラー又はクレヨン

□カッター

□はかり

□軍手

□ホットプレート又はコンロと鍋

□新聞・ぞうきん・はさみ

廃油 10g に対して凝固剤 1g を入れます。

(例) 廃油 50g に対して凝固剤 5g

キャンドルカラーについて

廃油キャンドル作りは、クレヨンでも着色できますが、今回のイベントではキャンドル作り専用のキャンドルカラーを使いました。

クレヨンを溶かすと、どうしてもクレヨン独特の臭いが出てしまうためです。

(作る前の準備) 大人と一緒に作ろう！

場所を準備しましょう。熱した廃油などが床やテーブル・洋服などにつかないように、「新聞紙を敷く」「エプロンをする」などして、汚れないようにしましょう。

廃油を湯煎するための空き瓶を準備します。(口が小さいものは、火を灯した時に熱がこもるので危険です。)

「作り方」(色を2層にする場合)※ホットプレート使用の例。

①瓶を量りにのせ、目盛りを0にし、一層目になる廃油を入れる。

デジタルスケールの場合
空き瓶をのせ
ONを押して0gにする



② もう一度、目盛りを0にし、凝固剤を入れる。

廃油 10 g に対して凝固剤 1 g を入れます。

(例) 廃油 50 g に対して凝固剤 5 g



もう一度ONを押して
0gにする

凝固剤を入れる

③ ホットプレートに水を張り②の瓶を入れる。
湯煎し、凝固剤が溶けるまで割り箸でかき混ぜる。



④ 凝固材が溶けたら、③の油に箸かピンセットを使ってタコ糸を浸け、新聞の上で伸ばしておく。



⑤ 好きな色のキャンドルカラー(クレヨン)を用意し、カッターで削る。

(ポイント)

キャンドルカラー(クレヨン)の量は、一つまみ位で優しい色合い、二つまみ位で鮮やかになります。

※今日はあらかじめ削ってあるものから、好きな色を選びます。



⑥ ③にキャンドルカラー(クレヨン)を入れてよく混ぜます。溶けたら、ホットプレートから取り出し④のタコ糸を瓶のまん中になるように垂らし、割り箸(洗濯バサミ)で、タコ糸を固定します。



⑦ 別の空き瓶に、上の層になるだいたいの量の廃油を入れ、①→②まで同じように行う。

溶けたら、好きな色のキャンドルカラーを入れ溶かす。

⑧ 一層目が固まったら、その上に⑦をそそぎ入れる。
※熱いので軍手をします。



⑨ タコ糸を再び割り箸(洗濯バサミ)で固定し、固まったらキャンドルから1cm位でカットし、完成!



あと片付けもしっかりやりましょう!

※廃油と凝固剤がこびりついた空き瓶はリサイクルに出せません。きれいに洗って取れるものはリサイクルにとれないものは、そのまま自治体の方法に従って捨ててください。※出雲市の場合は『埋立ごみ』です。